

地域美産研究・探訪会ニュース No.39

発行：平成 18 年（2006）8月24日

第 39 回催事 岡林 馨さんの鎌倉美産研究・探訪会－Ⅳ

鎌倉の武家美産、その本物を体験する特別催事
『武家社会に生きた女性たちを史跡に尋ね、鎌倉一の名舗「鉢の木」で
白拍子の舞謡と鼓を鑑賞、武家のご膳を賞味する』

研究・探訪会： 平成 18 年（2006）年 9 月 30 日（土）



鎌倉は、源頼朝の鎌倉入り（1180 年 10 月）以来、その歴史の積み重ねが生みだした美産たちの古都で、源・北条の武家文化と臨済の禅文化、明治からの湘南鎌倉文士文化の美産一杯の街です。鎌倉生まれの岡林 馨さんは実業界退職後、目下、街の有力者の皆さんと鎌倉市まちづくりに尽力中。今回の美産会は、「武家の古都・鎌倉」世界遺産申請に合わせて、鎌倉の新しい魅力の開発を企図してその文化と産業を織り込んだ質の高い催事です。

1. 午前中の第 1 部研究会では、「**武家社会に生きた女性たちを史跡に尋ねる**」を、鎌倉生涯学習センターで学びます。
2. 午後の第 2 部探訪会では、北條政子の寿福寺、駆け込み寺・東慶寺他を尋ねます。今回の研究・探訪会は、鎌倉文化の奥深さを知るとして置き場です。



3. 第 3 部は「**その芸と食を体験する**」。北鎌倉の「鉢の木」は、ご存知の通り鎌倉一の精進料理の銘舗として評判のお店です。同舗の藤川譲次社長は、岡林さんと鎌倉街づくりの同志として親しい関係にあることから「**その芸と食を体験する**」会場として新館二階大広間をお借りできました。この大広間では、二つの特別企画催事が行われます。



一つ目は、平安時代の女性たちが演じた「白拍子」の伝統的舞謡の復活を志して、国の内外で公演活動を続ける桜井真樹子さんが、今から 820 年前、義経の愛妾で白拍子の名手、静御前が義経を慕って鶴岡八幡宮で舞った「静」の舞謡を、今井尋也さんの鼓で演じる「**白拍子の舞謡鑑賞会**」。

二つ目は、名舗「鉢の木」が鎌倉の武家食文化復活のため開発中の特別膳「**武家のご膳賞味会**」です。

1 研究会、2 探訪会、3 「鉢の木会」、のいずれか一つだけへの参加も可能です。

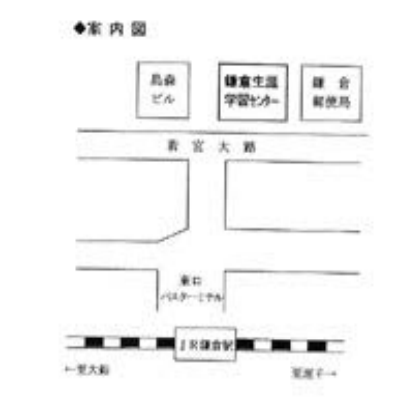


企画案内

岡林 馨；昭和 18 年（1943）鎌倉市由比ガ浜生まれ、慶大卒横浜銀行入社。平成 15 年（2003）同銀行退職まで支店長、営業統括部企画室長、関連会社役員などを歴任、現在は母校で中世史を学ぶかたわら、（社）鎌倉同人会理事などを通じて、鎌倉市のまちづくりと文化推進活動に尽力中。

第 39 回催事、鎌倉美産研究・探訪会－Ⅳ 詳細案内


第 1 部：研究会；「武家社会に生きた女性たちを史跡に尋ねる」

	期 日	平成 18 年 (2006) 9 月 30 日 (土)
	集合時刻と場所	9:45 am (時間厳守) JR 鎌倉駅北口 (鶴岡八幡宮方面) 改札口外側
	研究会の時刻と場所	10:00~11:30 am 鎌倉市生涯学習センター Tel. 0467(25)2030
	講 師	岡林 馨：鎌倉同人会理事
	参 加 人 数	30 名
	参 加 費	3 ページを参照
	遅刻等の連絡	080-6503-4630 (岡林) 080-3003-5277 (福原)

第 2 部：探訪会；「武家社会に生きた女性たちをゆかりの寺社を訪ね、往時を偲ぶ」

日 時	平成 18 年 (2006) 9 月 30 日 (土) 13:30~15:30 (雨天決行)
集合時間と場所	13:20 (時間厳守)、鶴岡八幡宮舞殿 (修理中) 正面前附近
探訪コース	鶴岡八幡宮 (静の舞)、寿福寺 (政子)、英勝寺 (お勝の方)、東慶寺 (駆込寺) ほか
案内と解説	岡林 馨
参加人数	30 名
探訪会参加費	3 ページを参照
個人費用負担	昼食、訪問先寺社入場料など。
昼 食	昼食は、研究会後に鶴岡八幡宮境内の茶店等で各自済ませる。

第 3 部：特別催事「鉢の木会」；「白拍子の舞謡鑑賞会と、武家のご膳賞味会」

	期 日	平成 18 年 (2006) 9 月 30 日 (土)
	会 場	鎌倉「鉢の木」北鎌倉新館 2 階大広間 鎌倉市山之内 350 Tel. 0467-23-3723
	白拍子舞謡会	16:00~17:00 出演：桜井真樹子 (舞謡)、今井尋也 (鼓)
	武家のご膳	17:30~19:00 ご亭主解説・濁り酒付 (予定)
	参加人数	30 名
	参加費	3 ページを参照
	遅刻等の連絡	080-6503-4630 (岡林) 080-3003-5277 (福原)

出演者の紹介：

桜井真樹子 (舞謡)：作曲家・ヴォーカリスト (天台声明)・パーフォーマー (白拍子)；天台宗大原流声明を中山玄晋に師事。龍笛を芝祐靖氏に師事。1988年東京音楽大学専攻科作曲修了後、イスラエルでユダヤ教の音楽を研究。1994年 ACC (アジア文化交流基金) 奨学金を得て渡米、ナバホ、ホピ族の音楽を研究。1997年より平安時代の女性歌謡と舞踊の復曲と創作活動を行い数々の作品発表。

今井尋也 (鼓)：幼少より能を学ぶ。10代で能の舞台上で活躍し、国立能楽堂、東京芸大を経てフリーの鼓打ちとして様々なジャンルのアーティストとコラボレーションを展開。主宰のアートパフォーマンスユニット「メカロシアター」では演出を担当、フィリップ・デュクフレやジェローム・ベルなどの海外の演出家の舞台にもパーフォーマーとして出演、現代演劇からダンス、音楽、美術まで幅広く活動中。

第 39 回催事：鎌倉美産研究・探訪会 参加申込書

記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

9 月 27 日（水）迄にこの申込書をメール、FAX（03-3407-5247）か郵送で。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏名		職業			
住所	〒				
生年月日	大正/昭和 (西暦) 年 月 日				
会員資格	一般	会員	賛助会員	特別賛助会員	
Tel(自宅)		Fax			
Tel(携帯)		e-mail			
会員の家族会員は 2 名まで、 賛助会員・特別賛助会員の家族・法人は 1 名まで、特別割引料金で参加できます。					
ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏名		職業			
ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏名		職業			

参加記入欄（該当欄に を付けて下さい）

	1 研究会	2 探訪会	3 鉢の木会	全てに参加の割引料金
会員	1,000	1,500	12,000	13,500
家族会員（1名分）	1,000	1,500	12,000	13,500
賛助会員	500	1,000	12,000	12,500
賛助会員、家族か法人（1名）	500	1,000	12,000	12,500
特別賛助会員	0	0	12,000	12,000
特別賛助会員家族か法人（1名）	0	0	12,000	12,000
一般参加者	1,500	2,000	13,000	15,000
* 学生と地元関係者	1,000	1,500	12,000	13,500

* 当会の活動が学生と訪問先の地域活性活動に貢献するよう、特別参加費枠を設定。

参加申込と受付 会員優先で申込先着順とします。以下の申込手続きに従って申し込んでください。

1. 参加申込欄の記入事項欄に必要事項を記入し、メールかファックス又は郵送で事務局へ。
2. 事務局から参加枠確保の連絡を受けて、**指定振込口座（みずほ銀行青山支店普 # 2341030, パブリックアート研究所）**に貴方の参加料金を**振込料自己負担**で振り込み。
3. 振込み無き場合は貴方の参加枠を喪失します。
4. 振込済料金払戻し；主催者側瑕疵の場合を除き払戻不可。
5. 申込締切日：9月27日（水）
6. 探訪会当日の傷害事故補償：美産会が費用負担する損保ジャパン「レクリエーション保険」内で補償。

貴方の参加に必要な振込金額（上欄 印の合計金額）： / _____

地域美産会「新規入会/継続入会申込書」・「平成18年度年会費振込書」

記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

このフォームは新規入会者と、入会済会員で今期の会員継続をお願いする両方の方々に記入頂くフォームです。記入済フォームはFAX(03-3407-5247)か郵送で返送。なお現会員で今期年会費を9月末迄に未納の会員は資格を喪失し、再入会には入会金が必要となります。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				
住所						
生年月日	大正/昭和 (西暦) 年 月 日					
Tel.(自宅)		Fax				
Tel.(携帯)		e-mail				
家族・法人会員登録欄(2名登録可)。賛助会員・特別賛助会員は、家族又は法人1名登録可。						
ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				
生年月日	大正/昭和 (西暦) 年 月 日					
ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				
生年月日	大正/昭和 (西暦) 年 月 日					
前記の「会員の種類」を参考に、 入会希望の水色欄に 印を記入。		入会金		年会費		
		入会時のみ		e-mail 会員	郵送会員	
個人会員			6,000		6,000	8,000
家族会員	個人会員と2名まで		7,000		8,000	10,000
賛助会員	家族又は法人1名登録可		3,000		3,000	4,000
特別賛助会員	家族又は法人1名登録可		0		0	0

貴方の払込金額(次の項目を確認し払込金額を記入・算出してください)

- (1) 入会金： / _____
- (2) 年会費(どちらかを で選択):
 e-mail 会員 ; / _____ 又は、 郵送会員 ; / _____
- (3) 賛助・寄付金 ;
 個人会員(金額は自由です) / _____
 賛助会員(5万円~9万円まで) ¥ _____
 特別賛助会員(10万円以上) ¥ _____
- (4) 会員資格「賛助会員、特別賛助会員」の表記・非表記の選択
 寄付金という性質上、あなたは今後配布される名簿・書類などに「賛助会員、特別賛助会員」の表記を希望されますか? 印を付けてください。
 はい _____ いいえ(いいえ を選択された方は「会員」と表記されます。)

貴方の振込総額 = 上記(1)+(2)+(3)で算出 ; / _____

当会より入会承認の連絡後、下記口座に金額を振込んで下さい(振込料自己負担)

【 みずほ銀行 青山支店 普通預金 #2341030 パブリックアート研究所 】

第4年度 地域美産研究・探訪会 催事予定表

平成18年(2006年)8月24日現在

2006年(平成18年)				
月	日	曜日	催 事	企画者(敬称略)
4	1	土	国営昭和記念公園特別見学会	山野辺 信治 / 高橋 良孝
5	17	水	京都錦市場の美産研究会	田中 哲
	20	土	京都錦市場の美産探訪会	
6	22	木	札幌の最新アート系美産研究会	八代克彦 後藤 元一
	7	土	札幌の最新アート系美産探訪会	
7	19	水	「パブリックアート最近の趨勢」研究会	藤嶋 俊会
	22	土	「ミューザ川崎のパブリックアート」探訪会	
8	23	水	新渡戸稲造『武士道』英語版読書会 1	杉村 荘吉
9	30	土	鎌倉の美産 4、研究・探訪会	岡林 馨
10	21	土	東京近郊、秋の野草研究・探訪会	高橋 良孝
11	22	水	大阪道修町、医薬の街歴史美産研究会	橋本 完
	23	木・祝	大阪道修町、医薬の街歴史美産探訪会	
12	16	土	新渡戸稲造『武士道』英語版読書会 2	杉村 荘吉
2007年(平成19年)				
1	17	水	庶民信仰の石仏美産研究会...日暮里～田端	外山 晴彦
	20	土	庶民信仰の石仏美産探訪会	
2	14	水	さいたまの美産研究会	伊豆井 秀一
	17	土	さいたまの美産探訪会	
3	7	水	神奈川美産研究会	藤嶋 俊会
	10	土	神奈川美産探訪会	
3	24	土	年度末特別講演会 / 交歓大パーティ	

* ご注意：上記は都合により期日と内容が変わる場合があります。

美産会 ひろば

平成 18 年 7 月 1 日（土）札幌の探訪会に地元札幌から参加させて頂きました。実を言うと、訪れた場所は過去にも何度か訪れたことのある場所ばかりでしたが、1 日中天気も良く、全く飽きることがない楽しい探訪会になりました。ご案内を頂いた後藤元一先生のわかりやすく、興味深いご説明で、見るものすべてが、まるで別のものように見えたから不思議です。お陰様で札幌の新しい都市の魅力を訪ねることで、色々のことを学ぶことができました。

また、初対面の会員の皆様には温かく迎え入れて頂き、楽しい 1 日を過ごさせて頂きました。皆様の積極的な学習意欲と体力、そして人情の温かさには敬服致しました。美産会に参加されている皆様のこうした活動がもっと盛り上がり、日本文化の確認と継承、そして環境保護に、多くの人たちが関わって行かれることをお祈り致します。

地域美産会代表の杉村様から、たまたま私が昨年札幌勤務になっておりましたので、今回お誘いを頂きました。これまでは東京都内版、各地域版などで何度か地域美産会の活動を報道させて頂きましたが、今後とも、地域や内容に応じて取材、報道をしていきたいと考えております。地域美産会の今後の活動のご発展と、会員の皆様のご健勝をお祈り致します

産経新聞 札幌支局長 對馬 好一

東京で生れ育った僕は、いま札幌でギャラリーをやっている。そんな僕を気に掛けてくれていた東京の叔母から、「札幌美産探訪会」が行われるという封書が届いた。案内状をよく見ると、ギャラリー周辺の札幌の街おこし活動で一緒している事務局代表の後藤元一教授が今回の企画・案内をされていることを知った。不思議な縁を感じた僕は早速参加を決めた。



7 月 1 日の探訪会は、札幌テレビ塔に集合し、チャーターしたバスに乗って市内の数々のアートな観光スポットを覗いてまわった。西 8 丁目にあるイサム・ノグチの作品「ブラック・スライド・マントラ（滑り台のオブジェ）」、石山緑地、札幌芸術の森で昼食、その後札幌の北東に位置するイサム・ノグチの壮大な構想の基につくられた「モエレ沼公園」へ。はじめてお会いした参加者のみな様とともに、快晴の札幌アート見聞の旅は、ひとりひとりのご感想を耳にしなが、いつもと違った心地よい時を過ごすことができました。

激しさあり、静けさあり、40 分間のアートな噴水のステージを前に、まるで人生のようだと感想をもらったパブリック・アートの杉村代表はじめ、植物の植生に大変詳しい女性陣、各界でご活躍の諸先輩に囲まれて、少しずつ打ち解けながら、この会のこれからの可能性を感じました。今回の札幌地域美産のアート達は人と人との間にあって世知辛い世の中を少しずつ和らげてくれる、今の時代に重要な役割を果たしてくれているもの、と再発見したのでした。ご参加の皆様ありがとうございました。

ART-MANgallery 野口耕太郎

事務局だより 第2回目の「美産会ひろば」です。今回は去る7月1日札幌の探訪会に地元から参加されたお二人からの感想文です。皆さんの美産会に関するご意見、ご希望、また探訪会に参加した感想文、或いは日々の暮らしの中で感じたことなど、「美産会ひろば」にお便りをお寄せ下さい。掲載には匿名（又はペンネーム、イニシャルなど）を希望される方は、投稿時にその旨を明記してください。投稿は1ページに記載の地域美産会 事務局宛に郵送・メール・FAXなどで、よろしくお願ひします。地域美産研究・探訪会のホームページ <http://www.publicart.co.jp> と併せて、ブログ <http://bisan.seesaa.net> もご覧下さい。

事務局 福原 記